

幅の広いオーバーフェンダーで強調されたボディの丸みとキャブレターが奏でる吸気音で、街行く人を振り向かさずにはおかない存在感を放つこのミニは、「インペリアルクラフト大阪」にてリビルドされた完全オリジナル仕様だ。

子供が独立したことで、奥さまから趣味のクルマを勧められたというオーナーのTさん。かつて多くの旧車に乗ってきた中で、特に気に入っていたのがミニだった。

「先輩の1275Sに憧れて、20代半ばの頃に乗っていました。当時はキャンバストップにしたり、目いっぱい車高を下げたりして、楽しんでいましたね。走りでも、箕面あたりを攻めていたり」。

若かりし頃はアグレッシヴにミニを走らせていたTさんだが、現在は奥さまとのドライブを楽しみたいという。長距離や高速道路でも快適に走れるよう、エンジンは1380ccにボアアップ、さらに計60リットルの容量となるツインタンクを取り付けた長乗り仕様

だ。もちろん、すべての改造は公認済みだ。

ミニの製作に当たり行われた打ち合わせには奥さまも参加。Tさんと奥さまの希望にショップ側の提案が加わることで、最終的にでき上がったのは、クラシックに、そしてレーシーでありながらも、ミニの丸みを強調した愛らしさも感じる外装。また、内装はよりミニらしさを感じるように、センターメーターとレスレストンのバケットシートをはじめ、全体を黒くまとめてクラシカルでシックな佇まいに。レーススタイルを意識しているようにも見えるロールゲージは、同乗する奥さまを気遣い、安全性向上のために取り付けたもの。

今年の4月に納車して、やっと慣らし終わったばかりだというTさん。今後は足まわりに改良を施して、さらなるこだわりのミニに仕上げたいという。

05 '97 ROVER MINI Racing style

'97 ローバー ミニ

目指したのは、夫婦で長距離走行を楽しむための快適仕様ミニ

photo=st.mini 編集部 streetmini text= 中島 健 ken nakajima

special thanks= インペリアルクラフト大阪 tel.072-720-6780

http://www.imperials.jp



装着しているのはOERキャブレター。走行性能だけでなく、クローの効きも改善されたという。

黒でまとめた内装にセンターメーターとレスレストンのフロントバケットを配してミニらしいクラシカルさを演出



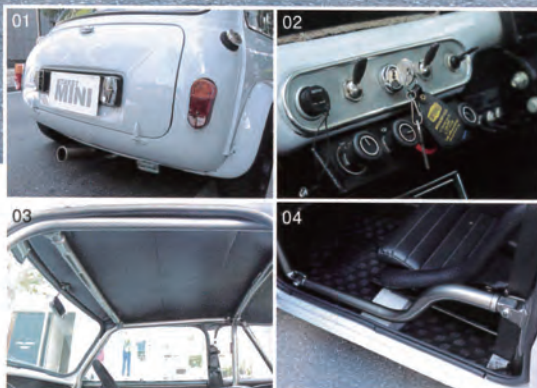
Custom point

- キャブレター: OER
- マフラー: RC40センターマフラー
- 足まわり: 深リム ミニライトホイール
- リアまわり: MKIテール
- シート: レスレストン フロントバケット etc.

Owner:
H.T さん

数多くのクルマやバイクを乗り継いだすえに辿り着いたのがミニだというオーナー。かつてはギリギリまで車高を下げたメイフェア1000で箕面方面の山道を攻めていたが、いまは奥さまとのドライブを楽しむために快適仕様を目指しているのだ。

01. MKIテールでミニの愛嬌が引き立つ後ろ姿に、アクセントのRC40センターマフラーが効いている。02. クラシックに統一したならば、センターキーは外せない。03. 04. 車内を走るロールゲージは、ロングドライブを安全に楽しむために設置。また、ボディ剛性を向上させることで、安定性も期待できる。



深リムのホイールを取り付けたかったTさんは、オーバーフェンダーをはじめ外装のパーツは全てホイールのイメージに合わせて選んだという。

